

発表 (1/19, 1/26, 2/2)

◎報告順

2018年1月19日(金)

01A17050

01A15008

02B17062

02B17083

03A17012

03A17223

03A16221

2018年1月26日(金)

04A17016

05B17046

05D17025

05D17034

09C17054

09C17152

2018年2月2日(金)

09C15142

10A17082

10A17087

10A15096

10A15157

10A17165

10A17183

◎持ち時間 : 一人当たり 20～25分

◎報告方法 : 前のプロジェクタで報告 (パワーポイント, ワード, pdfファイルなどを利用)。前もって

(当日の授業直前までに), tanizaki@econ.osaka-u.ac.jp 宛に報告ファイルを送ること。

◎報告内容：

- ・ 報告テーマは自由
- ・ 例えば、大学の授業で使われる教科書から題材をとり、それに合わせてデータを集めて、実証分析を行うこと

報告用ファイルの構成は次のような構成になる。

0. タイトル，学籍番号，氏名
1. はじめに
2. 理論編
3. 実証編
4. まとめ

「1.はじめに」では、何をするのかをまとめること(問題意識と「2.理論編」，「3.実証編」で行うことを簡単にまとめる)。

「2.理論編」では、どれか一つのテーマを取り上げ、その内容を調べること(教科書などを自分の言葉で要約すること)。

「3.実証編」では、「2.理論編」に対応した実証を行うこと。

進め方：

データの収集

Excel でグラフ，回帰分析

結果の解釈

◎ついでに，論文の書き方：

- ・ 卒論では、「です」「ます」を使わない
- ・ 章，節に分けて読み易くすること
- ・ あいまいな表現（例えば、「思う」）を使わないこと
- ・ 参考文献に書かれた文献をどこで用いたかを明記すること
- ・ 参考文献の丸写しはしないこと（要約すること）
- ・ 論文は作文でないので，基本的には自分の考えを含めない
- ・ 図，表から誰が見ても同じ結論が導けるように，客観性・論理性を保つこと
- ・ 現実がどうなっているのかを把握するために，出来るだけ多くのデータを示すこと